

事例紹介

ふるさと雇用再生
特別基金事業
【産業振興分野】

北秋田市を儲かる地域にするため、私達は立ち上りました。地元事業者とのパートナー関係を構築し販売を行い共栄する。産業界にとって今必要なことは、成功事例であると確信しています。私どもはその魁としてこの試みをどのような苦難や試練があっても必ず成功させなければならないと決意を新たにしています。



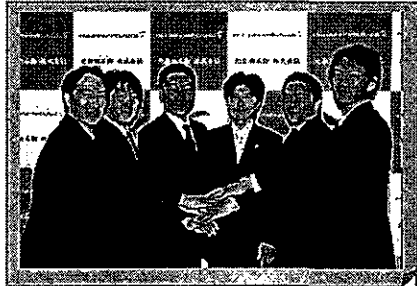
北秋田名物株式会社
代表取締役
野宮 幸博さん

事業概要	地域ブランドを総合プロデュースする会社を設立し、地域ブランド商品の創出及び、販売も行う。又、街づくり事業として市の振興の一翼を担う。		秋田県
委託先	北秋田名物株式会社	新たな雇用創出数 10人	
事業費	3125万円(平成21年度)	事業の開始	平成21年7月～

地域雇用失業情勢
(事業開始時点の有効求人倍率)

秋田県 0.29倍(季節調整値)
北秋田市管内 0.29倍(原数値)

業務内容	新たな株式会社の創業	
	公益債 五分野	ホームページ開設支援
		地元商業者の販売支援
		観光案内施設「へ」の運営
		企画・コンサルタント・商品開発支援
地域ブランドの創出による北秋田のPR		



《北秋田名物株式会社を創業した6人》

観光コンシェルジュの皆さん
北秋田市の素晴らしい体験滞在型観光商品を、訪れる観光客にワンストップで紹介する「観光案内サービス」を提供し、広く北秋田市の観光をPR致します。

北秋田の素晴らしい自然を皆様に伝えます。

お客様にホスピタリティを持って対応させて頂いております。

物産品の販路拡大に努めます。

推奨品に貼って頂きます。

◎ 事業部

創業者たちからの声
眠っている観光ブランドを掘り起こして全国に北秋田を発信し儲かる地域づくりに貢献して欲しい。



今後の姿
この会社が3年後、立派に機能し、私たちが幼少の頃の活気をこの北秋田市に取り戻す事が最大の目標です。



「儲かる地域」と新たな賑わいの創出を目指して!

「コンシェルジュ」同
猛勉強中です。
お待ちしております。
観光の提案いたします。
感動を伝えます。
ご当地キャラクター作成中。
外国からいらしても大丈夫です。

事業紹介

ふるさと雇用再生
特別基金事業
【教育・文化分野】

昨年からの経済の悪化で失業し、再就職を望む在住外国人から日本語学習の希望の声が多く寄せられていました。日本語だけでなく日本の習慣、常識、ルールなどを知らないまま、長年日本に暮らしている人がいます。外国人にとっても、日本語学習の機会ができたことは重要ですが社会の隣人として向き合う、日本人にとっても大事な事業を行うことができたと思います。



NPO法人愛伝舎
理事長 坂本久美子さん

事業概要

就労のための専門的な技術習得や介護技術の習得等に必要基本的な日本語能力を外国人労働者に身につけてもらうため、日本語講師を雇用し、日本語教室を開催する。

委託先

NPO法人愛伝舎 (2005年設立)
所在地：三重県鈴鹿市、従業員数：6名

新たな
雇用者数

2名

事業費

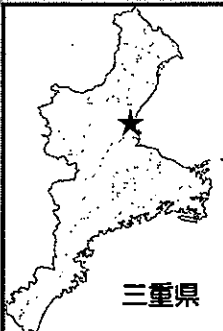
約859万円 (平成21年度)

事業開始

平成21年6月～

事業内容

日本語能力が十分でない外国人に対して就労のための日本語の講義を行うとともに、受講終了後の就労に向けた支援等を行う。



三重県



授業の様子



ポイント!
日系人が多く
住む団地の公民館
を活用して授業を
行っています。

地域雇用失業情勢
(事業開始時点の有効求人倍率)

- 三重県 0.39倍 (季調値)
- 鈴鹿管内 0.26倍 (原数値)

日本語教師のみなさん



日本語教師 大津さん
日本語教師 坂井さん

私も日系人で、日本に来てから日本語を学びました。日本語の文法の難しさはよく分かるので、ポルトガル語で日本語がまだよく分からない生徒さんに説明したいと思います。毎週の授業で、生徒さんが上達しているのを実感できて嬉しいです。

受講生さん達が、日本で仕事をして生活できるようになることが私たちの願いです。外国籍の方々が少しでも生活しやすくなれば、と思っています。



受講生 シモネさん

始めたときは、日本語が何も出来ませんでした。今は、平仮名、カタカナはほぼできます。自分のためにもっと勉強したいと思っています。

この学ぶチャンスをととてもありがたいと思っています。就職するチャンスも大きくて、もっと自信を持ってやっていけると思います。



受講生 リリさん

受講生のみなさん



この教科書とノートを使って、日本語を勉強しています!!

今後の抱負 (坂本理事長)

外国人の日本語学習の意欲は、たいへん高くなっていると思います。日本で暮らしていく上で、日本語ができるということは自立して暮らす第一歩ですし、職業や生活の場面に合わせた授業を行うなどこれからも日本語教室の運営を進めていきたいと思っています。